S.Katsura

JRA70周年記念

THE ANTARES STAKES 第29回 アンタレスステークス（GⅢ）

	1着	2着	3着	4着	5着
本賞	38,000,000円	15,000,000円	9,500,000円	5,700,000円	3,800,000円
付加賞	560,000円	160,000円	80,000円		

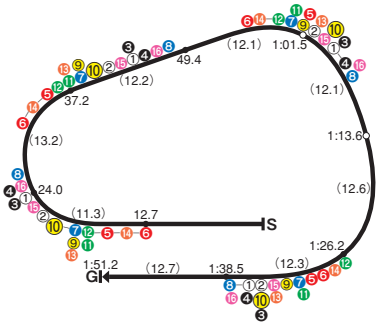
レース映像はコチラでご覧いただけます。

4歳以上、除未出走馬および未勝利馬
負担重量　57*ロ、牝馬2*ロ減、2023.4.15以降GⅠ競走（牝馬限定競走を除く）1着馬3*ロ増、牝馬限定GⅠ競走またはGⅡ競走（牝馬限定競走を除く）1着馬2*ロ増、牝馬限定GⅡ競走またはGⅢ競走（牝馬限定競走を除く）1着馬1*ロ増、2023.4.14以前のGⅠ競走（牝馬限定競走を除く）1着馬2*ロ増、牝馬限定GⅠ競走またはGⅡ競走（牝馬限定競走を除く）1着馬1*ロ増（ただし2歳時の成績を除く）

2024.4.14　阪神　晴・良　ダ1800メートル　（国際）（指定）

着順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム（着差）	コーナー通過順位	上り（600メートル）	馬体重（増減）	単勝オッズ	調教師	レーティング
1	⑩	ミッキーヌチバナ	牡6	57	太宰啓介	1:51.2	8-8-6-5	36.5	520（－4）	8.9⑤	高橋　亮（栗東）	109
2	⑯	スレイマン	牡6	57	斎藤　新	クビ	2-2-2-2	37.5	550（＋2）	5.5③	池添　学（栗東）	108
3	①	ハギノアレグリアス	牡7	58	岩田望来	1½	4-4-4-3	37.4	494（＋6）	2.9①	四位洋文（栗東）	108
4	⑬	トウセツ	牡5	57	団野大成	5	9-11-8-8	37.4	482（±0）	54.2⑪	杉山佳明（栗東）	98
5	⑦	サヴァ	牡6	57	岩田康誠	クビ	9-9-12-11	37.2	538（±0）	47.6⑩	上村洋行（栗東）	
6	②	ダノンマデイラ	牡6	57	鮫島克駿	1½	7-7-8-5	37.9	474（－2）	26.3⑦	茶木太樹（栗東）	
7	⑮	ケイアイパープル	牡8	57	亀田温心	クビ	6-6-6-8	37.9	510（+21）	37.1⑨	村山　明（栗東）	
8	⑭	ゲンパチルシファー	牡8	57	酒井　学	アタマ	15-15-15-15	36.9	516（－12）	346.2⑮	佐々木晶三（栗東）	
9	⑥	ホウオウルーレット	牡5	57	北村友一	ハナ	16-16-16-14	36.9	498（－12）	23.3⑥	栗田　徹（美浦）	
10	⑪	クリノドラゴン	牡6	58	田口貫太	クビ	12-11-12-11	37.6	490（＋2）	242.3⑬	大橋勇樹（栗東）	
11	⑤	ニューモニュメント	牡8	57	小崎綾也	クビ	14-14-10-13	37.5	500（＋4）	106.1⑫	小崎　憲（栗東）	
12	⑧	テーオードレフォン	牡5	57	丸山元気	クビ	1-1-1-1	39.2	500（－2）	6.0④	梅田智之（栗東）	
13	⑨	ラインオブソウル	牡5	57	松若風馬	クビ	9-9-10-10	37.9	520（－2）	27.4⑧	音無秀孝（栗東）	
14	③	ヴィクティファルス	騸6	58	池添謙一	10	4-4-4-5	40.0	490（±0）	4.0②	池添　学（栗東）	
15	④	サトノロイヤル	牡6	57	角田大河	¾	2-3-3-3	40.7	504（－10）	266.6⑭	新谷功一（栗東）	
16	⑫	リキサントライ	牡6	57	国分優作	9	12-13-14-16	40.7	488（－6）	479.0⑯	緒方　努（栗東）	

単勝⑩890円（5人気）　複勝⑩230円（5人気）　⑯200円（3人気）　①130円（1人気）　枠連⑤-⑧1,690円（8人気）
馬連⑩-⑯2,420円（9人気）　ワイド⑩-⑯760円（9人気）　①-⑩480円（4人気）　①-⑯410円（2人気）
馬単⑩-⑯5,530円（20人気）　3連複①-⑩-⑯2,390円（5人気）　3連単⑩-⑯-①21,610円（61人気）



通過タイム：600メートル 37.2 - 800メートル 49.4 - 1000メートル 1:01.5　上り：800メートル 49.7 - 600メートル 37.6

アラカルト

- 太宰啓介騎手はアンタレスS初勝利。JRA重賞はアスカノロマンで制した16年平安Sに続く通算7勝目
- 高橋亮調教師はアンタレスS初勝利。JRA重賞はスカーレットカラーで制した19年アイルランドトロフィー府中牝馬Sに続く通算3勝目
- ダノンレジェンド産駒はJRA重賞初勝利
- 6歳馬の勝利は23年プロミストウォリアに続く通算9回目
- 非当選馬　1頭（エナハツホ）
- 非抽選馬　2頭（テイエムアトム、マリオロード）

ミッキーヌチバナ *Mikki Nuchibana*

牡　鹿毛　2018.3.13生
北海道安平町　追分ファーム生産
馬主・野田みづき氏　栗東・高橋亮厩舎
馬名意味・冠名＋母名

ニキーヤUSA系　F9-h

ダノンレジェンドUSA Danon Legend 黒鹿毛　2010	Macho Uno 芦毛　1998	Holy Bull
		Primal Force
	My Goodness 黒鹿毛　2005	Storm Cat
		Caressing
ヌチバナ 鹿毛　2008	キングカメハメハ 鹿毛　2001	Kingmambo
		マンファスIRE
	ラバヤデール 鹿毛　2000	サンデーサイレンスUSA
		ニキーヤUSA

5代までのインブリード：Mr.Prospector M4×S5　Nureyev M4×M5
Northern Dancer S5×M5

INTERVIEW

吾田翼厩舎長（追分ファームリリーバレー）

期待していました

イヤリングから来た頃から馬体の良さが目立っており、走りにもダート向きといえる力強さを感じました。年齢を重ねてからも安定した走りをしてくれていただけでなく、重賞初挑戦となった東海Sの内容も良かったので、アンタレスSではさらにいいレースをしてくれるのではないかとの期待していました。牧場ゆかりの牝系から重賞勝ち馬が出たことも嬉しかったです。

父ダノンレジェンドUSA

中央、地方30戦14勝（ＪＢＣスプリントJpnⅠ、東京盃JpnⅡ、カペラＳGⅢ、クラスターCJpnⅢ２回、黒船賞JpnⅢ２回、東京スプリントJpnⅢ、北海道スプリントCJpnⅢ、ＪＢＣスプリントJpnⅠ２着）、17年から供用
〔代表産駒〕**ミッキーヌチバナ**（本馬）、**スペシャルエックス**（兵庫ジュニアグランプリJpnⅡ２着、兵庫ゴールドトロフィーJpnⅢ３着）、サヨノネイチヤ（勝島王冠、ブリリアントC）、トラジロウ（ネクストスター門別）、ダヴァンティ（ネクストスター金沢）、イカニカン（九州ダービー栄城賞）、他に地方重賞勝ち馬多数

母ヌチバナ

北海道安平町　追分ファーム生産　中央７戦０勝、地方４戦２勝
ハマオリ（14 牝父タートルボウルIRE）中央３戦０勝、地方50戦２勝
（15 不受胎）
エウリディーチェ（16 牝父シンボリクリスエスUSA）地方41戦５勝
ギャラクシーソウル（17 牝父クロフネUSA）中央15戦３勝（両津湾特別）
ミッキーヌチバナ　本馬（18 牡父ダノンレジェンドUSA）中央19戦５勝（アンタレスＳGⅢ、御陵Ｓ、ベテルギウスＳ・Ｌ３着）獲得総賞金122,286,000円
アコークロー（19 牝父フェノーメノ）中央18戦２勝 ㊊
オソルノ（20 牡父シニスターミニスターUSA）中央７戦２勝 ㊊
フィールアライヴ（21 牝父マジェスティックウォリアーUSA）中央２戦０勝 ㊊
シュドゥン（22 牝父ルヴァンスレーヴ）
（23 牡父ルヴァンスレーヴ）

祖母ラバヤデール

北海道追分町　追分ファーム生産　中央３勝。21年用途変更
リーブオブフェイス（07 牝父クロフネUSA）中央３勝
ヌチバナ（08 前出）
ソロル（10 牡父シンボリクリスエスUSA）中央７勝（マーチＳGⅢ、マリーンＳOP、ポルックスＳOP、花園Ｓ、西部日刊スポーツ杯、黒竹賞、平安ＳGⅢ２着）、障害２勝（小倉サマージャンプ・J・GⅢ）、地方０勝（兵庫チャンピオンシップJpnⅡ３着）
ルコルセール（18 牡父ロードカナロア）中央５勝（名古屋城ＳOP、マリーンＳOP２着、神無月Ｓ、渡島特別）㊊

曾祖母ニキーヤUSA

仏３勝、96年輸入、16年用途変更、**ゴールドアリュール**（フェブラリーＳGⅠ、東京大賞典GⅠ、ダービーグランプリGⅠ、ジャパンダートダービーGⅠ、最優秀ダートホース、種牡馬）、**ゴールスキー**（根岸ＳGⅢ、種牡馬）の母

遅咲きの6歳馬が初の重賞制覇

阪神競馬場では春開催の終了後、リフレッシュ工事が本格的に始まり、しばらく休催期間に入る。従来のスタンドのもとで行われた最後の重賞・アンタレスSは、実績最上位の古豪ハギノアレグリアス、2走前にダート路線へ転身してから順調に実績を重ねてきたヴィクティファルスと、58キロの別定重量を背負った2頭が1、2番人気に支持された。とはいえゴール前、一騎打ちで勝利を争ったのは斤量57キロ、重賞未勝利の2頭。このうち5番人気のミッキーヌチバナがクビ差の追い比べを制し、初のタイトルを手にした。

前走の名古屋城Sを逃げ切り、オープン初勝利を挙げたテーオードレフォンが好スタートを切って軽快に先行。大外枠から気合をつけて飛び出し、いったん前に出る場面もあったスレイマンは1コーナーで2番手に控え、隊列が定まる。最内枠を引いたハギノアレグリアスは4番手のインに収まり、ヴィクティファルスがその外を追走。前々で運んだ上位人気の4頭に対し、ミッキーヌチバナの太宰啓介騎手は中団の外で末脚を温存した。

4コーナーに差し掛かると、楽な手応えで逃げ馬に並びかけたスレイマンを追って、ハギノアレグリアスが2頭の背後に接近。太宰騎手も失速したヴィクティファルスを内からかわして位置を上げる。迎えた直線、ハギノアレグリアスの外へ持ち出されたミッキーヌチバナは力強い末脚を発揮。先に抜け出し、粘りに粘るスレイマンをねじ伏せて勝利を掴んだ。

ダートの中距離戦でコツコツと実績を積み上げてきた本馬は3走前に3勝クラスを卒業。昇級初戦のベテルギウスSでもペプチドナイルの3着に追い込み、オープンで互角に渡り合える能力を示した。初めて重賞に挑戦した東海Sは重馬場の高速決着に対応しきれず7着に敗れたが、3勝を挙げていた阪神コース、良馬場のダート戦で鮮やかに変身。近親にゴールドアリュールもいる6歳馬が遅咲きの素質を開花させ、父ダノンレジェンドに産駒初のJRA重賞制覇をプレゼントした。

N.Inaba